

NTT 東日本とのIoTを活用した八戸いちご生産に関する共同実証試験について

1 背景

八戸市では、昭和 30 年代から市川地区において本格的にいちご生産が始まり、県内で最大の産地が形成されており、その生産振興を図るため、農業経営振興センターにおいて新たな品種や栽培方法等に関する調査を継続的に実施するとともに、平成 25 年度からは、その販路拡大と販売促進を図るため、「八戸いちごマルシェ」等の情報発信型イベントを八戸菓子商工業組合と連携しながら八戸ポータルミュージアム等において開催し、八戸いちごの生産と販売を支援している。

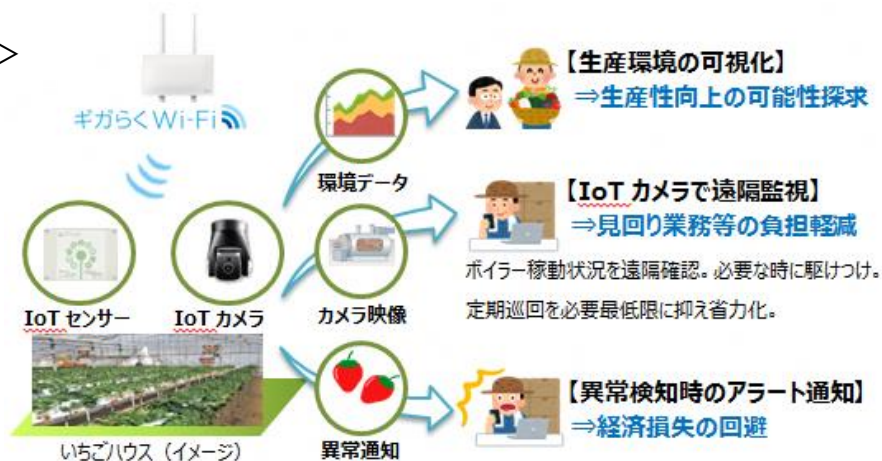
しかしながら、いちご生産者については、減少傾向にあり、その課題解決策の一環として新たに生産性の向上と労働環境の改善を図るための実証試験を開始するもの。

2 内容

・IoT センサー装置を活用した、いちごハウスの温度、湿度及び土壌水分量等の測定による生産環境の可視化に関する実証試験。

・ネットワークカメラを活用した、いちごハウス内の暖房機の稼動状況に関する遠隔監視による見回り業務等の負担軽減や異常検知時のアラート通知による経済損失の防止等に関する実証試験。

＜実証試験イメージ＞



3 期間 令和元年 12 月 17 日～令和 2 年 3 月 31 日(予定)

4 場所 八戸市農業経営振興センター内のいちごハウス

5 今後の展開

本実証試験を起点に、いちご生産者の生産性の向上、並びに労働環境の改善を図りながら、本市における農業 IoT 技術の活用、並びに普及の可能性を探る。